

ICTを活用した安全技術「ICT安全」の事例

1枚に1技術を目安に記載願います

JCMA機電i-Con現場WG

発行No
A-41

■ 技術名称	
タイヤローラ衝突防止補助装置	
■ 基本情報	
発注者	
会社名	
工種 (大項目)	ダム / トンネル / シールド / 造成 (舗装) 橋梁 / 構造物 / その他 ()
工種 (小項目)	アスファルト舗装工
仕様	発注者指定 / 受注者独自
採用事由	①ICT対象工事 ②技術提案 ③自主導入 ④創意工夫 ⑤その他 ()
採用目的	災害防止 / 危険有害要因の低減 / メンタルヘルス・作業環境の改善 / その他 ()
■ 実施内容詳細 (危険事例や想定だけの場合は本欄の記入は不用。)	
対象数量	
活用ICT	無人化・省人化 / 人・行動センシング (機械センシング) / その他能力支援 ()
システム業者	自社製作
導入効果・検証 (1)	注意喚起⇒減速⇒停止の三段階で制御するため、オペレータが危険を見落とした際でも、衝突する可能性を減少させることができた。
導入効果・検証 (2)	センサーの検知物が無くなれば自動で走行制御から復旧するため、操作性を損なわず運転可能である。
導入効果・検証 (3)	※採用目的に対する効果や課題について具体的に記入ください

作成者氏名	
連絡先(アドレス)	
■ 参考図・写真	
	
制御装置	施工状況 (松山空港)
■ 欲しい安全機能、改善したい機能	
<ul style="list-style-type: none"> ・人とモノを判別して制御させる機能の付加 	
■ 課題・要望事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・誤作動の防止 ・センサーの選定・設置方法の確立 ・重機メーカーによる標準装備の促進 	